

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業使命

お客様のニーズを徹底的に追求し、価値ある不動産を届ける

3カ年累計当期純利益
3,055億円自己資本比率
35%以上ネットD/Eレシオ
1.0倍以下3カ年成長投資
5,000億円

② 中長期の経営戦略

1. 戸建事業の強化拡大

仕入力・商品力・営業力を強化。東京23区、神奈川、愛知、福岡、関西圏での4大都市圏展開によるシェア拡大

3. 収益不動産の持続的成長

小規模・短期物件中心で事業リスクをコントロール。金融環境を踏まえ慎重に事業運営

2. マンション事業の着実成長

利便性の高い都心立地のコンパクトタイプマンションを首都圏・名古屋圏・福岡圏で展開。物件ごとの採算を重視

4. グループシナジー追求

プレサンス社との投資用マンション事業。メルディア社との販売協力で戸建事業全体を底上げ。完全子会社化で親子上場解消

③ 対処すべき課題

① 財務健全性の維持強化

- 自己資本比率を30%以上から35%以上に引き上げ
- ネットD/Eレシオ1.0倍以下を継続し安全性確保
- M&A・成長投資と株主還元のバランス

② 経営環境への対応

- 国内物価上昇による消費マインド低下への対応
- マンション価格高騰と販売戸数限定への対応
- 外国為替変動と金融資本市場動向への注視

③ 重要課題（マテリアリティ）への対応

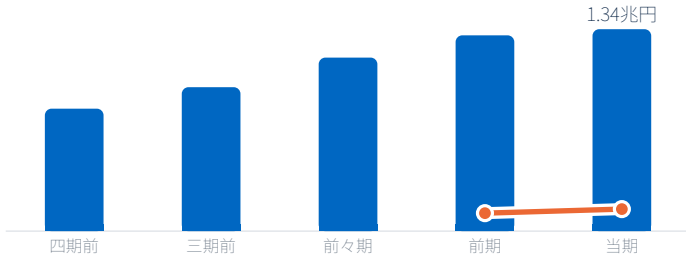
- ガバナンス・コンプライアンスの改革
- 顧客満足向上と人材採用強化
- 人的資本価値最大化、脱炭素貢献、健康安全な暮らしの実現

面接で使えるポイント

- 戸建関連事業を主力としながら、プレサンス社・メルディア社との連結子会社化で独立系総合不動産会社へ成長。
- 仕入力・商品力・営業力を経営資源として、東京23区から関西圏への4大都市圏展開で市場シェア拡大を目指す戦略
- 3カ年累計当期純利益3055億円、総還元性向40%以上で株主還元を重視。自己資本比率35%以上維持で安全性と成長性を両立

証券コード 3288

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高

1.34兆円

営業利益率

10.9%

財務健康度

57点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

914万円

不動産業内 27位/130社

平均年齢

34.7歳

不動産業内 107位/131社

平均勤続

4.5年

不動産業内 91位/131社

女性管理職

14.5%

不動産業内 27位/76社

男性育休

25.0%

不動産業内 52位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 頑張らなくていい！オープンハウス×ワッツが提案する忙しい人の

